

受 験 番 号

□ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。（四十点）

この部分は、著作権の関係で
掲載できません。

受験番号

問一 線部 a～e の漢字は読みを答え、カタカナは漢字に直せ。

a	b	c	d	e
---	---	---	---	---

問二 (A)～(C) を補うのに、最も適当な語をそれぞれ次の中から選び、記号で答えよ。

ア つまり イ たとえば ウ でも エ むしろ オ あるいは カ だから

A	B	C
---	---	---

問三 (I)～(III) を補うのに、最も適当な語をそれぞれ次の中から選び、記号で答えよ。

ア 合理的 イ 印象的 ウ 具体的 エ 感情的 オ 生理的 カ 客観的

I	II	III
---	----	-----

問四 線部①「大きな悩み」とあるが、その説明として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えよ。

ア ぼんやりと毎日を過ごす学生たちに、前向きな気持ちを持たせることができなかったこと。
イ 新しいモノを生み出すための力を、学生たちから引き出す方法が思いつかなかったこと。
ウ エンジニアから突然教員になり、仕事内容の違いに慣れることができそうになかったこと。
エ 失敗を経験させる自分のやり方が、正解主義で育った学生たちに受け入れられなかったこと。

--

問五 線部②「おもしろい発見」とあるが、

(1) どのようなことを発見したのか。四十字以内で答えよ。

--	--

(2) この発見から筆者が考えたこととして、最も適当なものを次の中から選び、記号で答えよ。

ア 学生たちは、成功体験から得られるものは何一つないと本能的に気が付いているということ。
イ 学生たちは、他人の失敗談を聴くことで挫折した自分を安心させようとしているということ。
ウ 学生たちは、正解しか認められない現代社会のあり方にストレスを感じているということ。
エ 学生たちは、失敗した時にどう乗り越えたいのかを切実に知りたがっているということ。

--

問六 線部③「日本の家庭や教育現場」で大人たちが教えてきたことは何か。文中から二十字以内で抜き出せ。

--

問七 線部④「心と身体に抗体をつくる」とは、どういうことか。三十字以内で説明せよ。

--

問八 線部⑤「結果的には近道なのです」とあるが、なぜ「近道」といえるのか。その理由として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えよ。

ア 失敗をした結果、日ごろの行いを「省察」することができ、向上心を持つことができるから。
イ 他人と協力しながら失敗を乗り越えることで、社会で実際に役立つ力を身につけられるから。
ウ 失敗を経験した方が、知識が表面的なものにとどまらず、本物の力を得ることができから。
エ 短時間で知識を根付かせるためには、成功よりも失敗を体験させる方がより効果があるから。

--

問九 線部⑥「真摯な問いかけ」とあるが、「真摯」に「問いかけ」とは、どのような行為か。それが述べられている部分を三十五字以内で探し、最初と最後の五字を抜き出せ。

--

問十 本文の内容に合うものを次の中から一つ選び、記号で答えよ。

ア 積極的に取り組む学生は、失敗を経験しても苦しさではなくやる気を感じるのである。
イ 筆者が失敗学に取り組み始めたのは、失敗を未然に防ぐことが重要だと考えたからである。
ウ 子どものころに失敗した経験がない人は、直面した困難からすぐ逃げようとする傾向がある。
エ 失敗に正面から向き合うことで、新たな知識が身につく、成長することができる。

--

受験番号

□ 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。（四十点）

この部分は、著作権の関係で
掲載できません。

受験番号

問一 〓線部 a、b、c の品詞名を答えよ。

a	
b	
c	

問二 (A) に当てはまる言葉として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えよ。
ア ずつしり イ がつちり ウ ゆつたり エ しんみり

問三 〓線部①「エイジは、思いきり手を伸ばして、フブキの名を呼びつづけ、がむしやらの頭をなで回した」とあるが、このときのエイジの心情を表している部分を文中から十五字で抜き出せ。

問四 〓線部②「怒鳴られることを覚悟していた」とあるが、

(1) エイジが、キシダ先生に「怒鳴られる」と「覚悟」した行為とは何か。十五字以内で具体的に答えよ。

(2) エイジが、(1) の行為を「怒鳴られる」と「覚悟」したのはなぜか。二十字以内で答えよ。

問五 〓線部③「こらえていた感情が涙とともにあふれてくる」とあるが、その理由として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えよ。

- ア 内緒でフブキに会いに来ていることを知られたから。
- イ フブキに特別な愛着を持っていることを知られたから。
- ウ 出荷されるフブキに、同情していることを知られたから。
- エ フブキ以外の羊に愛着を感じていないことを知られたから。

問六 〓線部④「それは残酷な動物殺しでしかない」とあるが、「残酷な動物殺し」にしないために、キシダ先生はどうしなければならぬかと考えているか。文中の語句を用いて四十五字以内で答えよ。

問七 〓線部⑤「じゃあ、エイジ、お前はこれからどうする？」とあるが、何について「これからどうする？」と聞いているのか。「〜こと」に続くように五字以内で答えよ。

問八 〓線部⑥「お前は、もうここに来るべきじゃない」とあるが、それは羊舎がどのような場所だからか。解答欄に合うように文中の語句を用いて二十五字以内で答えよ。

羊舎は

場所だから。

問九 〓線部⑦「キシダ先生の言葉は、重く、冷たくエイジに響いた」とあるが、このときのエイジの気持ちとして最も適当なものを次の中から選び、記号で答えよ。

- ア フブキに対するエイジの気持ちを知りつつ、出荷しようとするキシダ先生の冷たい言葉に恐れを抱いている。
- イ キシダ先生に家畜を飼育する意味を教えられ、愛玩動物を飼うような気持ちでいたことに責任を感じている。
- ウ 家畜に対しての間違った愛着を見抜かれたうえに、羊舎への出入りまで禁じられたことに怒りを覚えている。
- エ 家畜は人間が生きる上で必要だとわかっていても、愛着の強いフブキが出荷されることに衝撃を受けている。

受験番号

三 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。（二十点）

※1 美作国英多郡の部内に、官の鉄を取る山有り。その国の司、役夫十人を召しあげて、鉄山に入れ、穴に入れて鉄を掘り取らしめき。時に山の穴の口、たちまちに崩れ塞り動く。役夫驚き恐りて、穴より競ひ出で、（A）人わづかに出づ。一人のみ後れて出づる有り。その穴の口塞り合ひとどまる。国の司、圧れて死にたりと思ふが故に、愁へ悲しむ。妻子哭き愁へて、観音の像を図絵し、経を写し福力を追贈して、七日経ること已に訖りぬ。時にひとり穴のうちに居ておもはく、「吾、先の日法花大乘を写し奉らむと願ひて、未だ写し断らず。我が命を全くし給はば、我、必ず果し奉らむ」とおもふ。聞き穴に居て、愁へ悲しむ。生長りし時より今日に至るまで、この哀しびに過ぎたること無し。その穴の戸の隙、指刺すばかり開き、日の光および至りぬ。一人の沙弥有り。隙より入り来り、鉢に饌食を盛りて、以て与へて語らく、「汝の妻子、我に飲食を供へ、吾を雇ひて勧め救はしむ。汝また哭き愁ふるが故に、我来る」といふ。隙より出で去る。去りて後久しくあらずして、居たる頂に当りて、穴開け通り、日の光照りおよぶ。

『日本霊異記』

- ※1 美作国英多郡：岡山県美作市
- ※2 官：国官
- ※3 役夫：公用の労役に従事する男
- ※4 掘り取らしめき：掘り取らせた
- ※5 哭き愁へて：泣き悲しんで
- ※6 観音の像を図絵し：観世音菩薩（慈悲の心で人々を救う仏）の姿を絵に描き
- ※7 福力を追贈して：仏事を営み死者の冥福を祈って
- ※8 法花大乘：天台宗・日蓮宗のお経。法華経
- ※9 生長りし時より：物心がついてから
- ※10 穴の戸の隙、指刺すばかり開き：入り口のすきまが指の入るほど開いて
- ※11 沙弥：仏門に入ったばかりの僧
- ※12 饌食：ごちそう
- ※13 汝：お前
- ※14 吾を雇ひて勧め救はしむ：私に救ってくれと頼んでいる

問一（A）に適切な漢数字を補え。

--

問二——線部①「愁へ悲しむ」④「おもふ」⑦「出で去る」の主語として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えよ。

- ア 国の司 イ 逃げのびた役夫 ウ 妻子 エ 逃げ遅れた役夫 オ 沙弥
- | | | | |
|---|--|--|--|
| ① | | | |
| ④ | | | |
| ⑦ | | | |

問三——線部②「我が命を全くし給はば」の意味として、最も適当なものを次の中から選び、記号で答えよ。

- ア 私の命を軽くお考えになるならば イ 私の命を極楽へ導いてくださるならば
- ウ 私の命をお救いくださるならば エ 私の命を見捨てなさるならば
- | |
|--|
| |
|--|

問四——線部③「我、必ず果し奉らむ」とあるが、どのようなことを成し遂げると言っているのか。十字以内で答えよ。

問五——線部⑤「一人の沙弥」について、

（1）この「沙弥」は人間には不可能なことを行っているが、それはどのようなことか。二十五字以内で具体的に答えよ。

（2）「沙弥」の正体は何だったと考えられるか。文中から漢字二字で抜き出せ。

問六——線部⑥「汝また哭き愁ふる」とあるが、その嘆きがとても深いことを作者はどのように表しているか。文中から一文で探し、最初の五字を答えよ。

問七——線部⑧「穴開け通り、日の光照りおよぶ」とあるが、逃げ遅れた役夫が助かった理由として適当なものを次の中から二つ選び、記号で答えよ。

- ア 国の司や逃げのびた役夫が責任を感じ、逃げ遅れた仲間の救出を沙弥に頼んだから。
- イ 観音の姿を絵に描き、経を写して夫の冥福を祈った妻子の気持ちに仏に通じたから。
- ウ 穴の中で今までの行いを悔やんだ役夫が、今後は仏を信じて生きることを誓ったから。
- エ 妻子のために生きのびようと考えた役夫が、通りかかった沙弥に必死で救出を願ったから。
- オ 以前から仏教を信仰していた役夫が窮地に陥り嘆いていることを、仏が哀れんだから。

問八 本文を三段落に分ける場合、第二段落、第三段落は共通の言葉で始まる。その言葉を文中から抜き出せ。

--

--